

こんぺいとう通信

2020

3

教室のみなさん、こんにちは (ノ^ノ)
しばらくお休みをいただいていたこんぺいとう通信ですが、久々の再開です。

世の中は新型コロナウイルスのおかげで大変なことになっていますね。我が家も子供の高校の卒業式が実質中止となり寂しい春を迎えることとなりました。春の高校野球が中止になったりコンサートなどのイベントが軒並み中止となり、株価もリーマンショック以来の大暴落を続けており、思わず暗い気持ちになってしまいます。

少人数で個別対応の当教室は、当面このまま営業を続ける予定です。教室内の換気や消毒など出来るだけのことをしながら注意深く運営してまいりますので、よろしくお願いいたします。

そのうえで参加されるかお休みされるかは、生徒さん一人一人のご判断におまかせいたします。もし来月以降お休みをご希望される方は、その旨をお申し出くださいませ。受講料のご請求を中断させていただきます。

また体調不良でご予約をキャンセルされる場合は、例外的に翌月以降へのお振り替えも致しますので、お気軽にお申し出ください。

こんな非常事態ですが、なんとか知恵と力を合わせて乗り切っていきたいものです。

最近ワタクシがハマっているサービスがあります。Makuake (マクアケ) というのですが、聞いたことがありますか？ 公式ホームページの説明によるとマクアケとは「世の中をもっとよくするチャレンジが毎日続々と登場するアタラシイものや体験の応援購入サービスです」とあります。

通常、お店で販売されている商品やサービスは、ある程度の規模の会社や団体が提供しているものです。個人で優れた商品のアイデアを思い付いたとしても、それを商品化するのは資金や設備、販路の確保などなかなかハードルが高いです。

また会社組織であったとしても、社員の考えたアイデアが商品化されるまでには、それがどれぐらいの利益を生み出すのかなど、社内の承認が得られなければ日の目を見ることはありません。

そんなアイデアを形にするための仕組みが「クラウドファンディング」というもので、その中の一つが「マクアケ」というわけです。

具体的には、「実行者」が自分のアイデア（プロジェクト）をマクアケに投稿（プレゼン）し、それに賛同した人々（サポーター）がそのアイデアの商品なりサービスなりを「応援購入」します。そして無事プロジェクトが完了した暁には、その商品がサポーターの手元に届くという仕組みです。

要は、「こんなアイデアを考えたので作りたいんだけど…」という人と「あ、それイイね。私応援するから頑張る」という人を結びつけるサービスですね。

マクアケの魅力は①商品の開発をユーザーも一緒に行うことができる②応援購入することで実際に市場で販売される予定価格より安く手に入れることができる点が挙げられます。特に①については、プロジェクトが完了するまで実行者はサポーターの意見を聞きながら商品を改良し続けますので、より理想的な商品になる可能性があるということです。サポーターはまさに、一緒に商品を作る「応援団・サポーター」なのです。

ちなみに私がマクアケを利用し始めたきっかけとなり始めて応援購入した商品は…キングジムという文具メーカーの社員の方が発案した「フリーノ」という画期的なデジタルノートです。これについては、またいずれおしゃべりする予定です。とりあえずマクアケというサービスが気になった方は、公式ホームページをご覧くださいね。

<https://www.makuake.com/>